

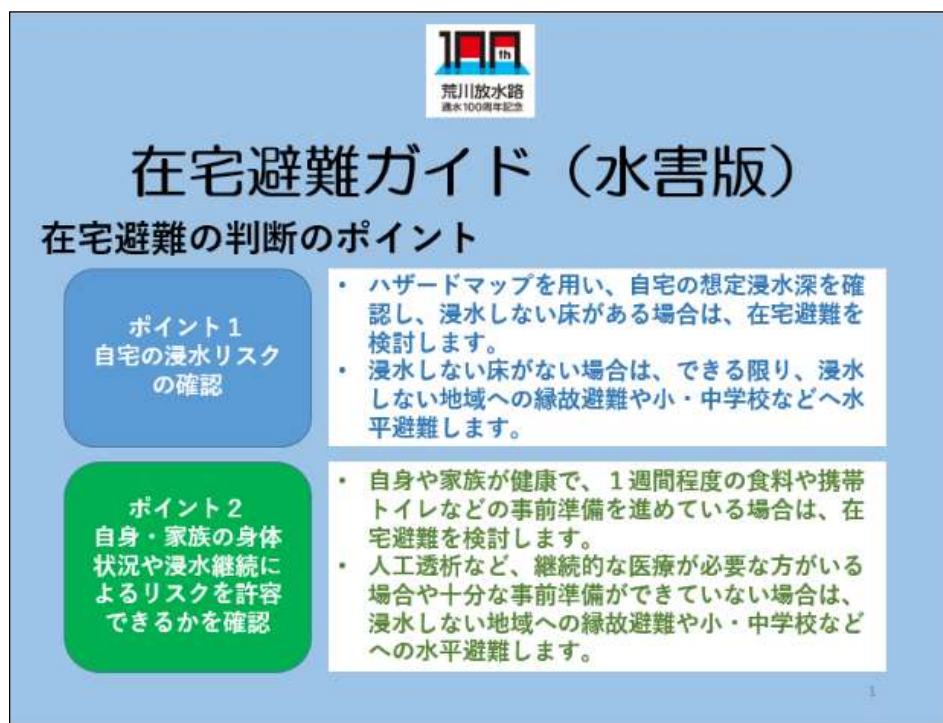
# 在宅避難ガイドの作成(令和5年度取組み)

葛飾区

## 1 概要

- ・これまでの災害では、避難者の集中による避難所の混雑のほか、避難所における生活環境やプライバシー確保などが課題となっており、分散避難の重要性が高まっている。
- ・そこで、自宅に浸水しない床があり、浸水継続によるリスクを許容できる場合や自宅が倒壊するおそれがない等の安全が確保できる場合に、自宅で避難する「在宅避難」を区として推進していく上で必要となる準備や在宅避難の可否の判断等、区民に事前周知すべき事項について、「在宅避難ガイド」を作成して取りまとめた。
- ・水害時と地震時では、在宅避難の持つべき意味合いや、事前準備、判断基準等が異なることから、水害版と地震版を作成した。

### ▽在宅避難ガイド(水害編)



荒川放水路  
浸水100周年記念

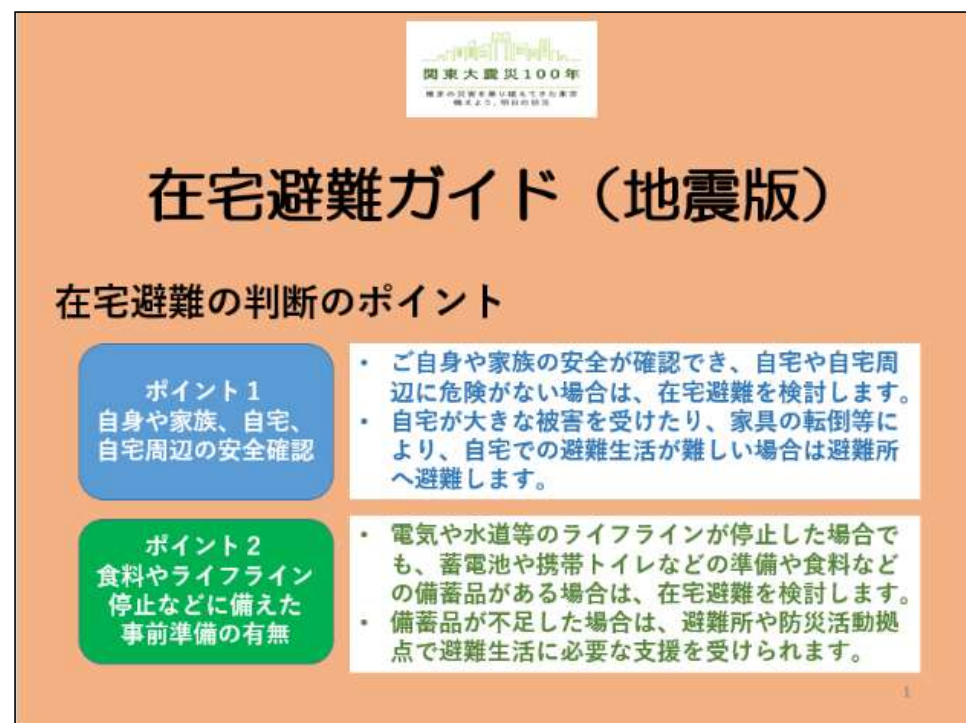
## 在宅避難ガイド(水害版)

### 在宅避難の判断のポイント

- ポイント1**  
自宅の浸水リスクの確認
- ・ハザードマップを用い、自宅の想定浸水深を確認し、浸水しない床がある場合は、在宅避難を検討します。
- ・浸水しない床がない場合は、できる限り、浸水しない地域への縁故避難や小・中学校などへ水平避難します。
- ポイント2**  
自身・家族の身体状況や浸水継続によるリスクを許容できるかを確認
- ・自身や家族が健康で、1週間程度の食料や携帯トイレなどの事前準備を進めている場合は、在宅避難を検討します。
- ・人工透析など、継続的な医療が必要な方がいる場合や十分な事前準備ができていない場合は、浸水しない地域への縁故避難や小・中学校などへの水平避難します。

1

### ▽在宅避難ガイド(地震編)



関東大震災100年  
関東の災害を振り返り防災でつなぐ未来  
備えよ、防災の心

## 在宅避難ガイド(地震版)

### 在宅避難の判断のポイント

- ポイント1**  
自身や家族、自宅、自宅周辺の安全確認
- ・ご自身や家族の安全が確認でき、自宅や自宅周辺に危険がない場合は、在宅避難を検討します。
- ・自宅が大きな被害を受けたり、家具の転倒等により、自宅での避難生活が難しい場合は避難所へ避難します。
- ポイント2**  
食料やライフライン停止などに備えた事前準備の有無
- ・電気や水道等のライフラインが停止した場合でも、蓄電池や携帯トイレなどの準備や食料などの備蓄品がある場合は、在宅避難を検討します。
- ・備蓄品が不足した場合は、避難所や防災活動拠点で避難生活に必要な支援を受けられます。

1

# 在宅避難ガイドの作成(令和5年度取組み)

葛飾区

## 2 内容

・在宅避難ガイド(水害編)では、在宅避難の概要のほか、葛飾区の被害想定、避難のポイントや事前の準備、在宅避難のリスクや行動パターン、マイタイムラインの作成や災害情報の収集方法等を含んだ内容となっている。

▽在宅避難ガイド(水害編)の一部抜粋

### 葛飾区の被害想定・避難方法のポイント

- 治水対策の進展により、昭和22年のカスリーン台風以降、河川の氾濫による水害は発生していません。
- 下水道の概成整備が完了した平成7年以降、面的な内水氾濫は発生していません(新小岩などで局部的な内水氾濫は発生しています)。




内水氾濫マップ  
想定した大雨の規模は、平成12年9月の東海豪雨です。  
(毎時量58.9mm、時間最大雨量114mm)

- 一方、地球温暖化の進展に伴う台風の大型化などにより、水害の頻発化・激甚化が進んでおり、方が一を想定した事前準備が必要となります。
- 内水氾濫のおそれがある場合は、近隣の高い建物や自宅の上階へ移動することが原則となります(線状降水帯が発生した場合、本区全域で内水氾濫が発生することが考えられます)。

### 1. 在宅避難とは

避難情報が発令されたら、近隣の小・中学校に行く!  
...そう思っていないですか? 違う!?

水害時の避難には、大きくは「水平避難」と「垂直避難」の2つに分類され、垂直避難の中に、自宅に留まり、浸水しない階に避難する「在宅避難」があります。



特に、浸水継続時間の短い、内水氾濫などが想定される場合の避難方法として、「在宅避難」は有効になります。

在宅避難には様々なメリットがあります。

### 4. 在宅避難時の備蓄品

在宅避難に備え、水や食料の他に、医療・衛生用品や衣類・生活用品なども備蓄しておきましょう。

備蓄品は「最低3日分」「できれば7日分」を備蓄しましょう!

水・食料	医療・衛生用品	衣類・生活用品
<input type="checkbox"/> 飲料水 (3リットル/日×人数分)	<input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳	<input type="checkbox"/> 防寒着
<input type="checkbox"/> 非常食 (できればアレルギー対応食品)	<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> 下着
道具類	<input type="checkbox"/> 除菌シート・石鹸	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ
<input type="checkbox"/> LEDライト (できればヘッドライト)	<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> 発電機	<input type="checkbox"/> 卓上コンロ・カセットボンベ	<input type="checkbox"/> 歯磨きセット
<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー <input type="checkbox"/> 笛	<input type="checkbox"/> 使い捨てビニール袋	<input type="checkbox"/> 厚手の靴下・靴


備蓄品を使用した防災レシードについては以下のサイトから確認いただけます。

ローリングストック 日常的に使用できるストック食材(カップ麺やレトルト食品、缶詰など)を多めに購入し、古いものから使い、使った分を補充する方法

公益社団法人東京都東義士会HP: かんたん!おうちdeかん!

### 6. 在宅避難する場合のリスク

地震時に比べて、水害時の在宅避難は備蓄などの事前準備がより重要となります。



大雨の降っている区域や雨量、お住まいの地域などの違いで、浸水継続時間が異なります。

2階に避難しても浸水の可能性があるため、とても危険です。

2週間以上、電気・ガス・トイレ等が使えなくなる可能性があります。

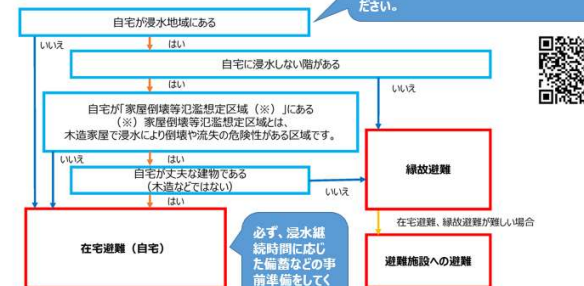
食料以外の蓄電池や携帯トイレなどの備蓄を忘れずに!

左記のリスクなどを考え合わせて、事前にとどの程度の浸水継続時間であれば、在宅避難が可能か考えておきましょう!!

水害時の避難行動フローを紹介します。

### 8. 避難行動フロー

避難行動フロー図



葛飾区水害ハザードマップ解説編  
パターン1: P21、パターン2: P24~25、パターン3: P32~33を参照し、確認してください。

必ず、浸水継続時間に応じた備蓄などの事前準備をしておきましょう!!

災害時にとるべき行動をあらかじめ決めておきましょう。

### 10. 災害時の情報収集方法

正しい情報の入手方法を知っておきましょう。

区からの情報は自宅で確認できます!

- **防災行政無線**  
区内131か所に屋外スピーカーを設置しており、サイレンを鳴らして緊急・災害情報をお知らせします。
- **防災行政無線確認用スマートフォンアプリ「かつらぱ」**  
防災行政無線の放送内容をアプリから文字や音声で確認できます。
- **防災行政無線電話案内サービス (0800-800-0657)**  
防災行政無線の放送内容を電話から音声で確認できます。
- **NHK「d」ボタン**  
河川の水位や雨量のほか、避難情報や避難所開設情報などが確認できます。
- **かつらFM (78.9MHz)**  
避難情報や避難所開設情報などが確認できます。

アプリ ホームページ

# 在宅避難ガイドの作成(令和5年度取組み)

葛飾区

## 3 今後

- ・令和6年4月に区ホームページ等で公表し、今後の水害ハザードマップ説明会や防災講座など様々な機会を捉え、自宅の安全が確認できる場合、在宅避難が有効な避難策のひとつであることを周知していく。
- ・水害ハザードマップ説明会では、地域の浸水リスクや風水害の規模に応じて、広域避難と在宅避難等をそれぞれ説明し、適切な避難行動を推進している。
- ・令和5年度は水害ハザードマップ説明会を地域別に6回実施し、延べ130名以上の区民が参加した。また、令和6年度は水害の説明会に加え、地震に関する説明会も実施予定である。

▽葛飾区水害ハザードマップ



▽令和5年度水害ハザードマップ説明会  
(奥のステージ左側:葛飾区 青木 克徳 区長)

